

### ◆平成30年1月～9月工事事故の状況◆

#### ◆平成30年1月～9月事故の特徴◆

- ☆事故発生件数は、「56件」(速報値)。
- ☆死亡事故は発生していない。(昨年同時期－1件)
- ☆休業4日以上が「4件」発生。
- ☆公衆災害は車両損傷事故、労働災害は墜落事故が大幅に増加。

#### ◆現場での安全な施工に向けて◆

⇒**気温の低下や天候の急変などに注意し、無事故で工事完成を！**

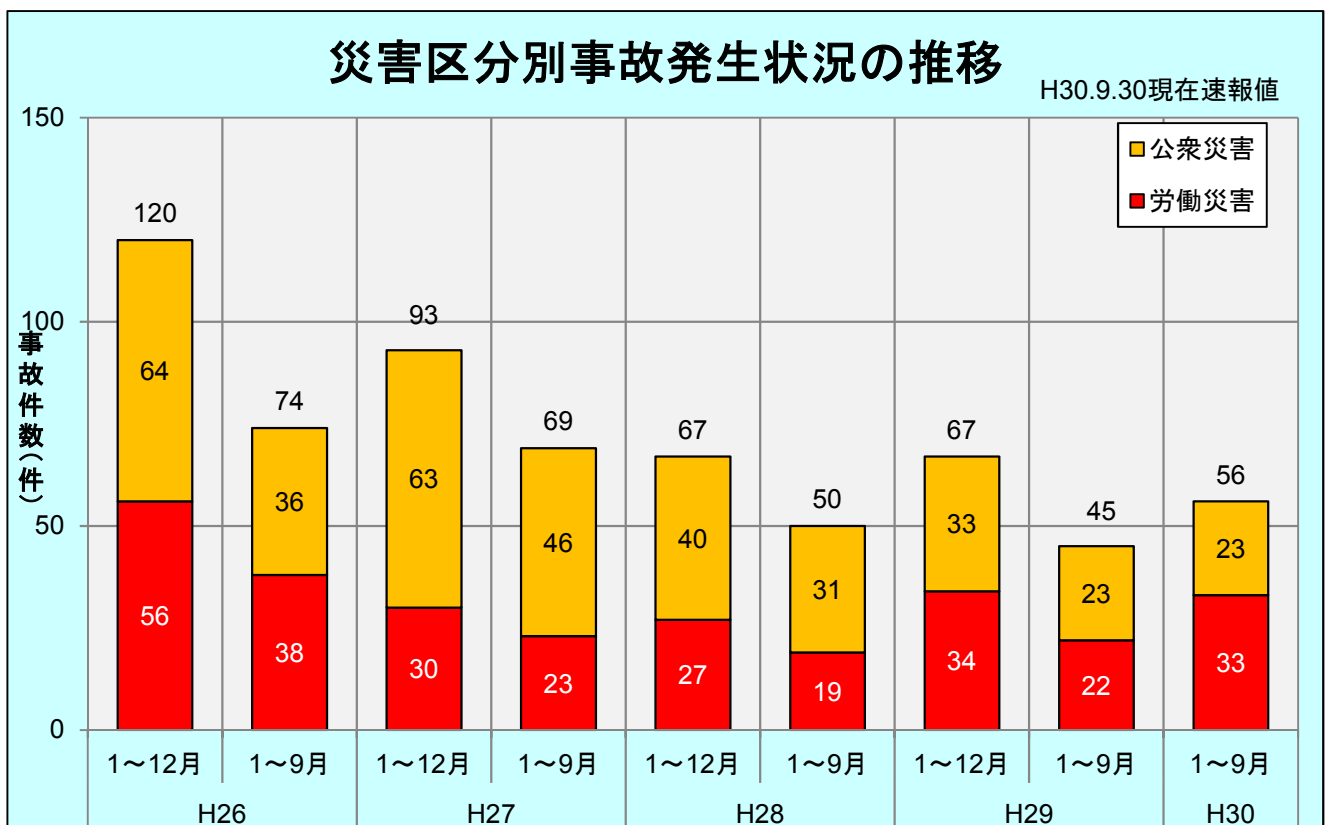
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事・業務を対象としています。

## 1. 工事事故の発生状況

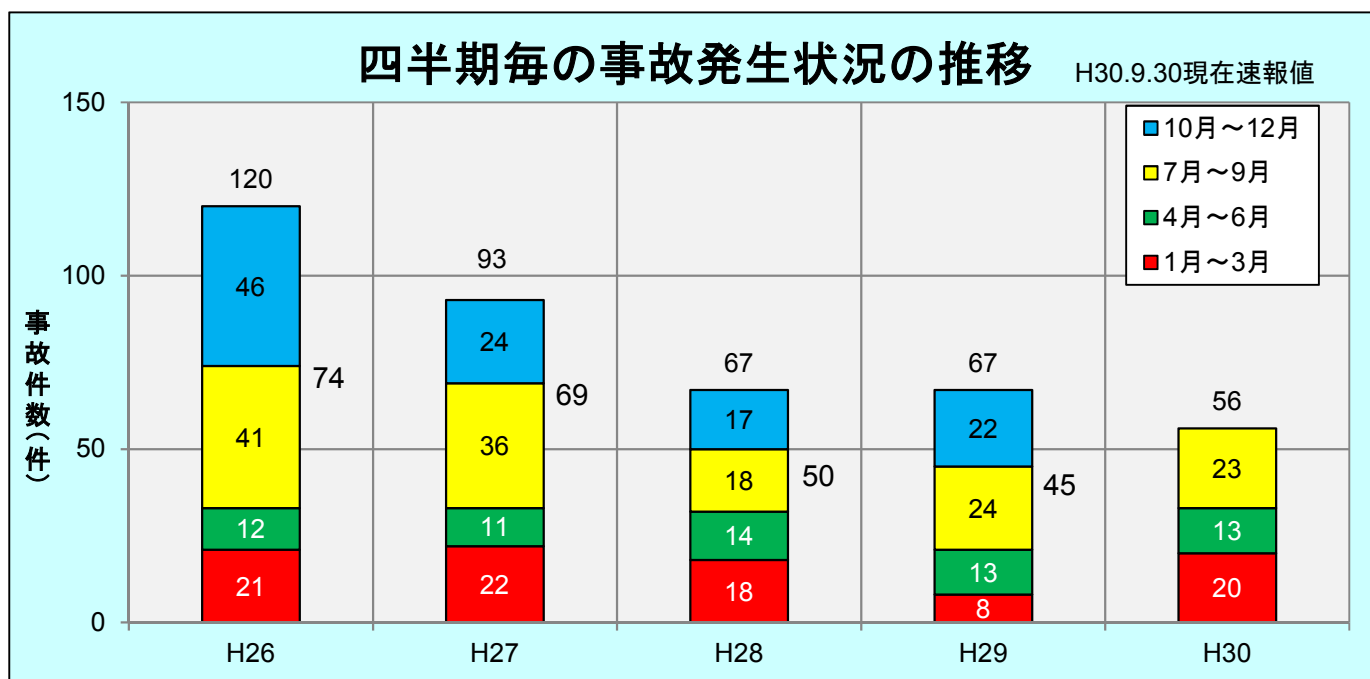
### 1) 各年の事故件数の推移

H30年9月までの工事事故件数は56件(昨年同時期から+11件)となっています。公衆災害は23件、労働災害は33件となっており、労働災害が大幅に増加(+10件)しています。



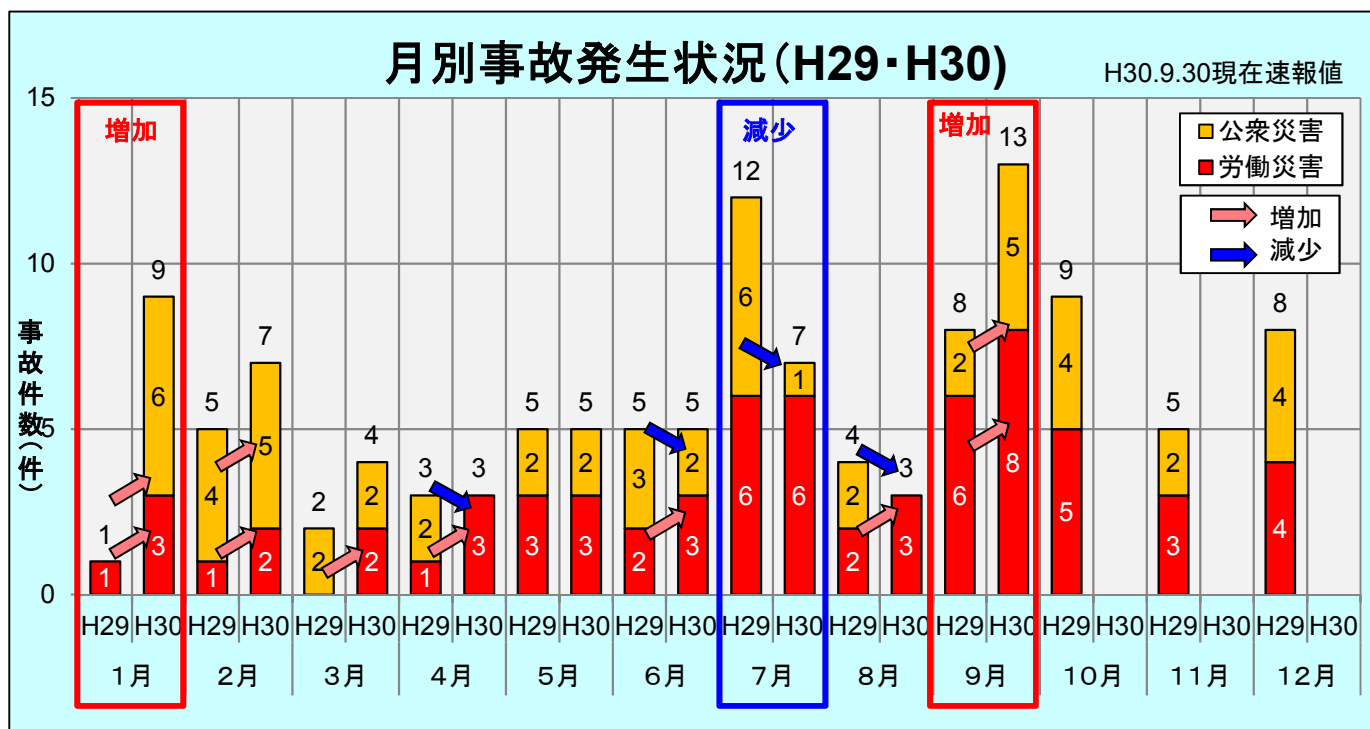
## 2) 四半期別の事故発生件数

H30とH29の四半期別事故発生件数を比較すると、1～3月で20件（+12件）と大幅に増加し、4～9月で36件（-1件）の微減となっています。



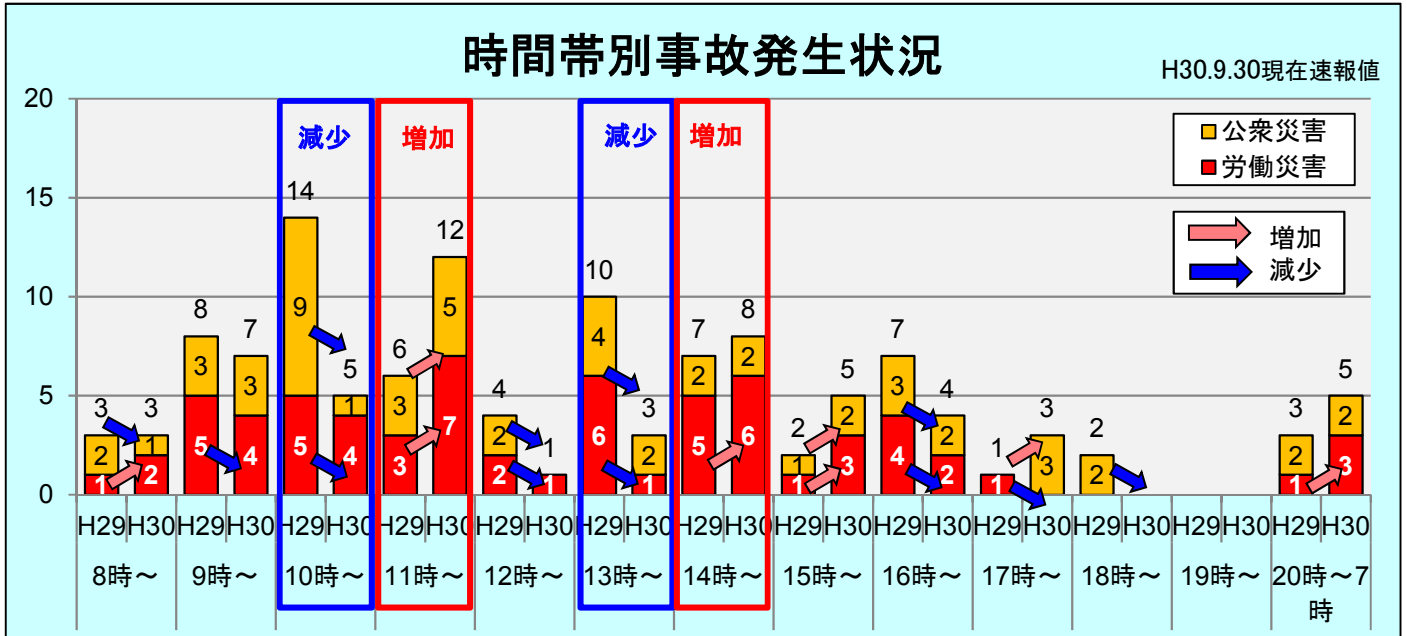
## 3) 月別の事故発生件数

H30とH29の月別事故発生件数を比較すると、1月、9月は事故発生件数が大幅に増加し、9月が最多の13件（公衆災害5件、労働災害8件）の発生、1月は9件発生し前年同月から+8件（公衆災害+6件、労働災害+2件）となっています。また、7月は7件発生し公衆災害が5件減少しています。



#### 4) 時間帯別の事故発生件数

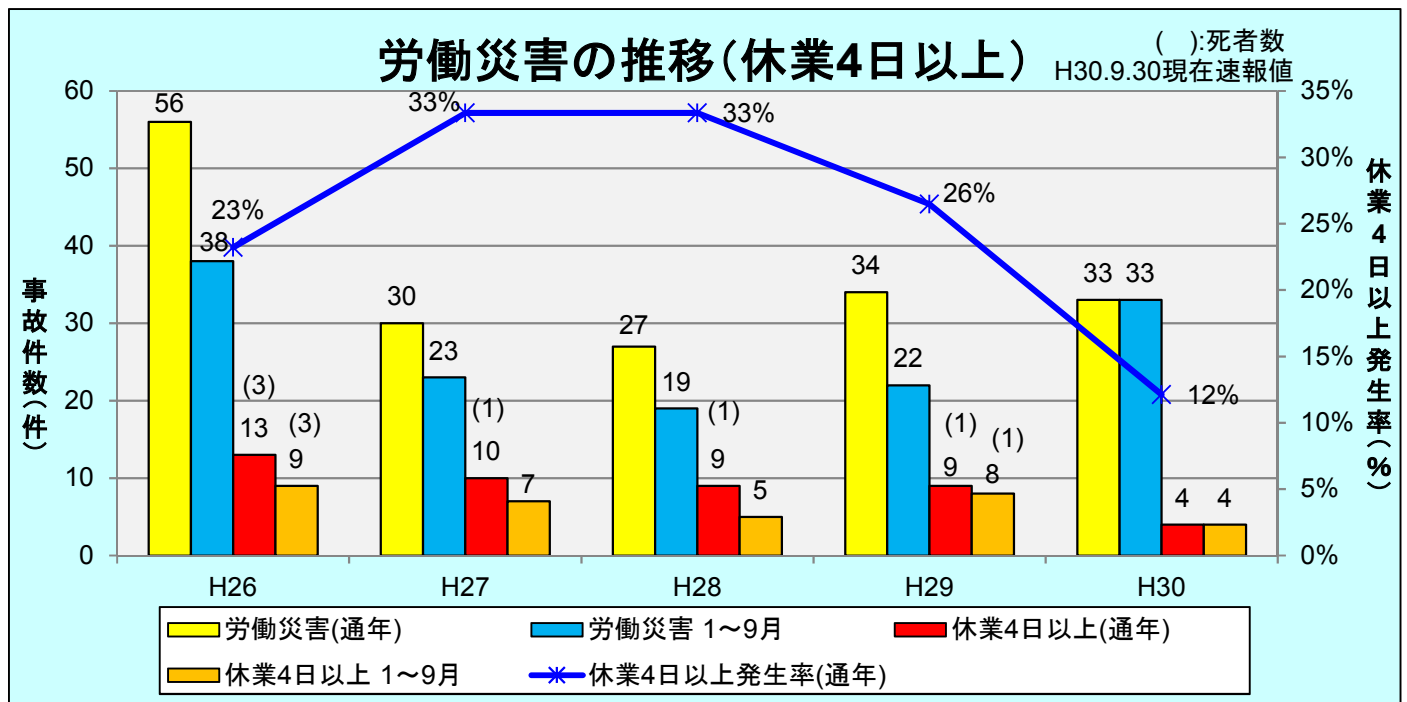
H30とH29の時間帯別事故発生件数を比較すると、午前11時台が6件から12件（公衆災害5件、労働災害7件）に倍増し、時間帯別で最多発生件数となっています。午後は14時台が最多の8件発生し、昨年から1件増加しています。また、10時台が5件（-9件）、13時台が3件（-7件）に減少しています。



## 2. 労働災害の発生状況

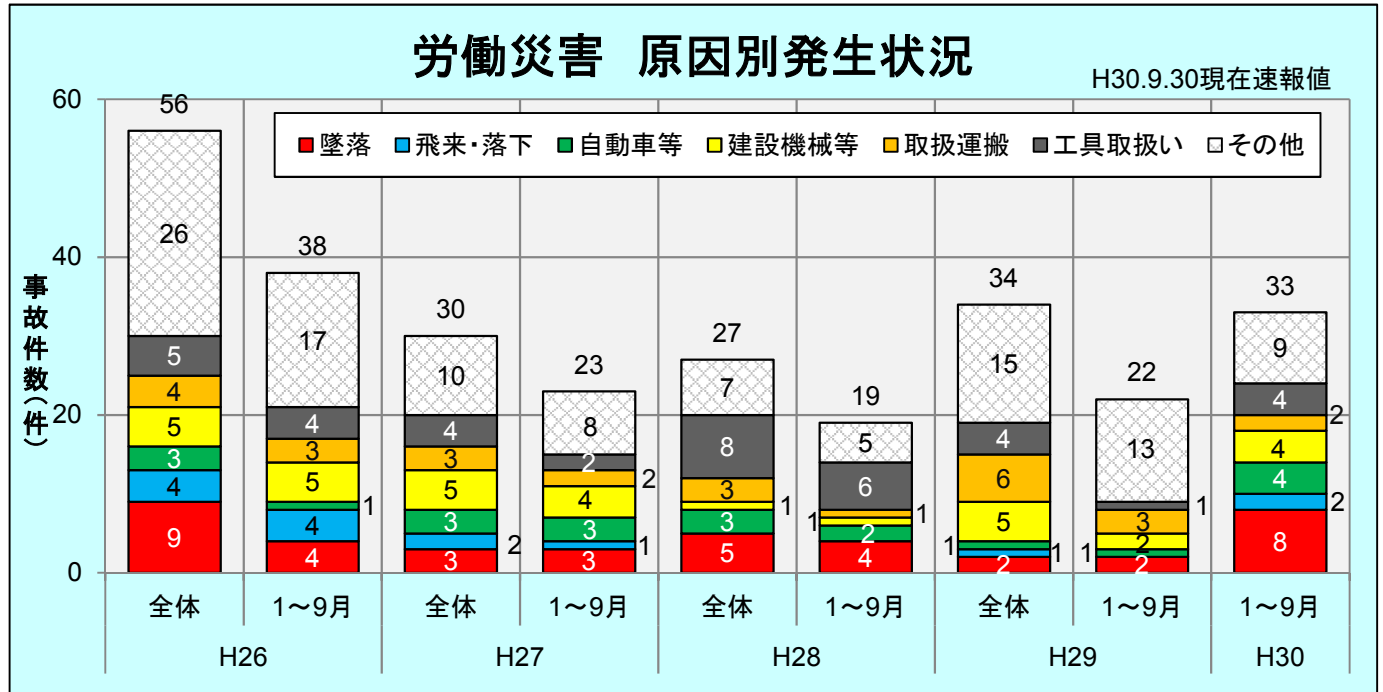
### 1) 休業4日以上 of 事故発生状況

H30年9月までの労働災害は33件発生し、昨年より11件増加しています。休業4日以上 of 労働災害は4件発生し、昨年より4件減少（死亡事故なし）しています。労働災害に占める休業4日以上 of 事故発生率は12%となっています。



## 2) 労働災害の原因別事故発生件数

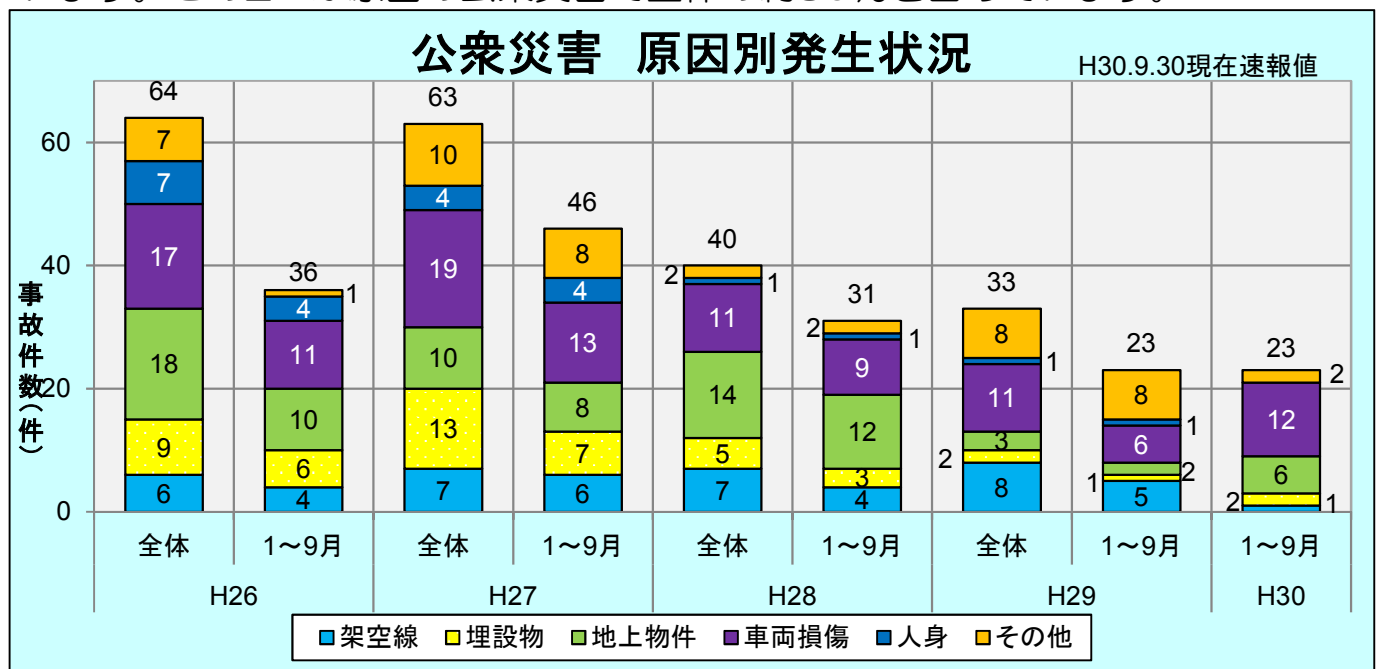
H30年9月迄の労働災害の事故発生原因では、墜落が8件で前年同時期より6件増加し最多となっています。次いで自動車等、建設機械等、工具取扱いがそれぞれ4件の発生となっています。



※自動車等：ダンプトラック、乗用車等による事故 建設機械等：クレーン、バックホウ等による事故 取扱運搬：荷下ろし中などでの事故  
 工具取扱い：ブレーカー、ドリル等の作業工具による事故 その他：倒壊、落盤、電気、爆発、その他による事故

## 3. 公衆災害の原因別発生状況

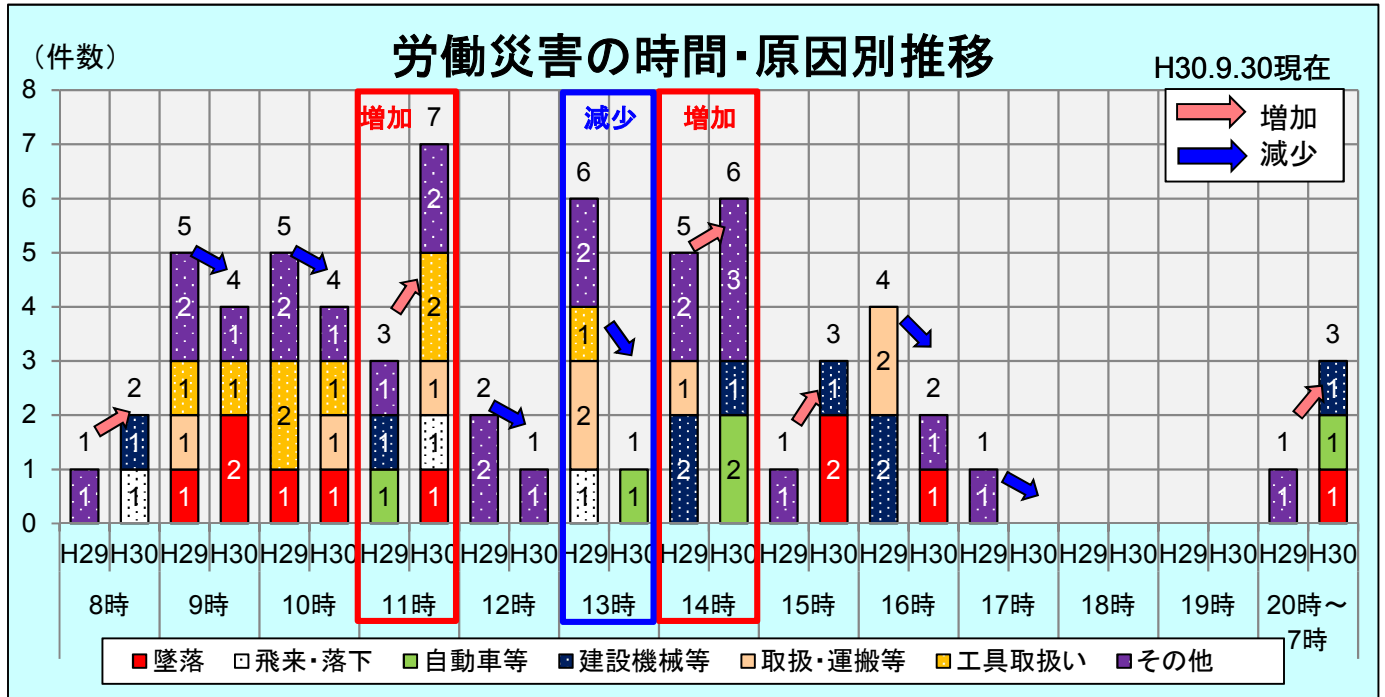
H30年9月迄の公衆災害の事故発生原因では、車両損傷が12件（+6件）発生し、全体の半数以上となっており、次いで地上物件が6件（+4件）発生しています。この2つが原因の公衆災害で全体の約80%を占めています。



#### 4. 時間帯・原因別の詳細分析

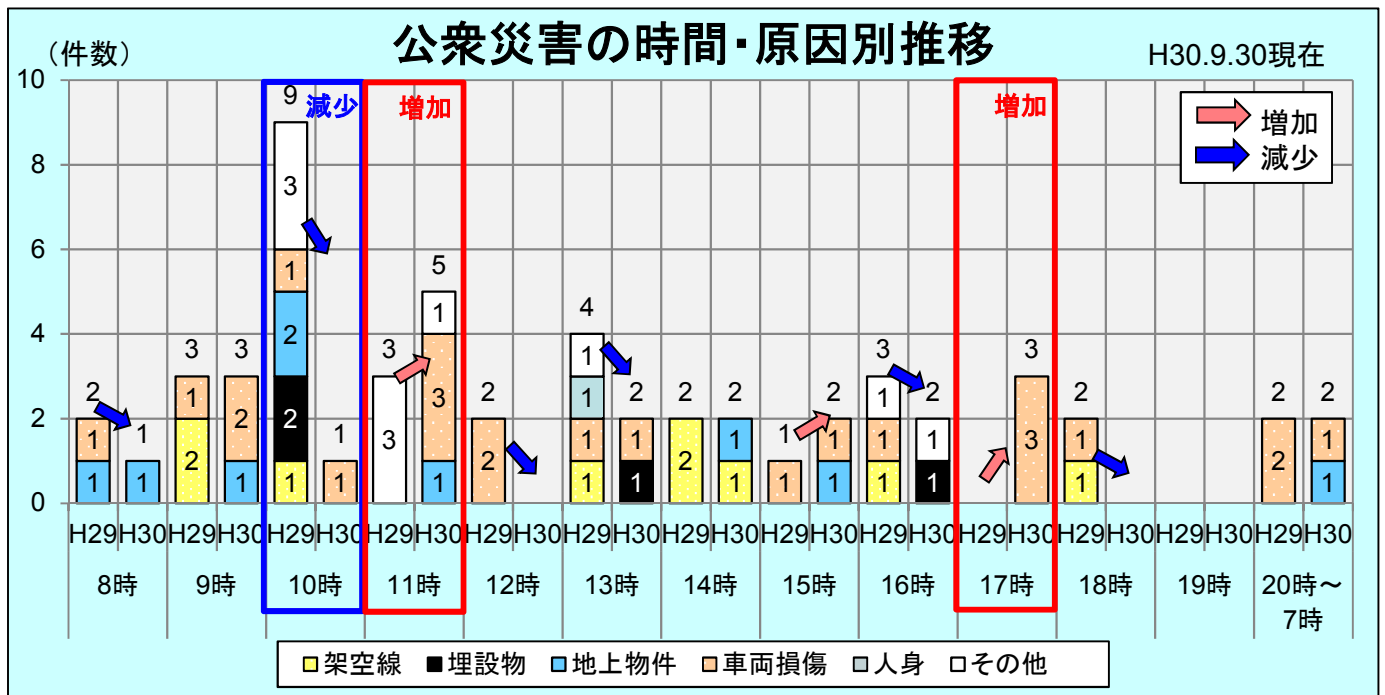
##### 1) 労働災害

H30とH29の時間帯・原因別を比較すると、午前は11時台が最多(7件)の発生となっており、午後は14時台の発生が最多(6件)となっています。また、13時台が5件減少して1件の発生となっています。



##### 2) 公衆災害

H30とH29の時間帯・原因別を比較すると、午前は11時台(5件)が最多で車両損傷が増加しています。午後は17時台が3件発生し、全て車両損傷が原因となっています。10時台は9件から1件(-8件)と大幅に減少しています。



## 5. その他

### 『建設工事事故データベース(SAS)』への登録をお願いします。

地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



### ・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

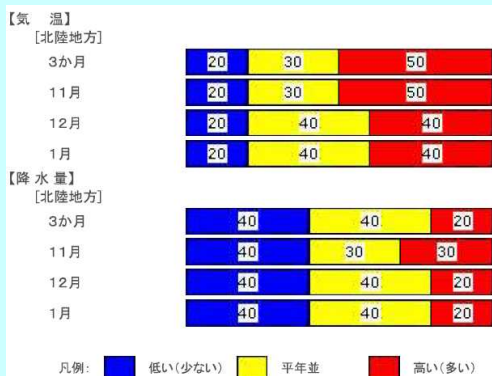
※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

(参考)北陸地方 3か月予報(平成30年10月24日新潟地方気象台発表)

#### <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。  
気温は、高い確率50%です。
- ・12月 平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。  
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。  
降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
- ・1月 平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。  
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。  
降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。



### 平成30年度安全管理優良事例集(平成30年9月)を作成しました

今年度表彰を受けた18者の取り組み事例を北陸地方整備局ホームページに掲載しました。安全教育、安全管理等の参考にして下さい。

(<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/youyou/h30/H30jireishu.pdf>)

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 神田

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861